

日本橋本店ならではの『働きやすさ』と『働きがい』をみんなで築き上げよう!!

第10期前半(2022年10月~2023年9月)

重点取り組み

計画的な働き方の実現と対話できる職場環境づくり、対話のきっかけとなる情報提供をおこないます。

活動目標・具体的アクション

VOICEサイクル (現場活動)

日本橋本店のメンバーと店全体の取り組みや働く環境について対話し、改善に繋がります。VOICEサイクルを通じて、メンバーの一人ひとりが「こうありたい」「こうしたい」を自ら考え、行動することをサポートします。

- ①催事やギフトセンター応援等のマルチタスクの取組みや労働時間管理、従業員食堂の環境改善などメンバーの働く環境改善に向け取り組みます。
- ②所属ごとにメンバーの抱える課題を、組合役員・テーマ別VOICE・アンケートを通じて収集し、集まった声を基に店経営と意見交換を行い、終了後はメンバーに向けてフィードバックを実施します。継続してVOICEサイクルを回すことで、メンバーの組合活動参画に繋がっていきます。

経営対策

会社の中期経営計画である『高感度上質戦略』『顧客とつながるCRM戦略』を中心に、取り組む上での成果や課題を従業員目線で確認し、店・所属経営との対話を強化します。活動を通してメンバーの業績・店方針に対する理解を深め、不安や不満の解消と納得感やモチベーションの向上につなげます。

日本橋本店の方針に基づき、以下の取組みの実態を把握するためテーマ別VOICEやアンケートを実施し、収集した声を基に店・所属経営と「取り組む上での課題解決」に向けた意見交換を行います。

- ①『高感度上質戦略』では、外商部との連携やサテライト店との連携の取組み
- ②『顧客とつながるCRM戦略』では、新お買場帳場制度やエムアイカード獲得の取組み

広報活動

広報を通じてメンバーに組合活動を周知し、今まで以上に組合活動への参画度合いを高めます。店経営の考え方やメンバーの課題感を日本橋本店内で共有できるよう、メンバーの関心が高く有益な情報をタイムリーかつ効果的に発信します。

- ①組合広報を通して、メンバーの更なる組合活動への参画につなげるため広報紙を作成し、デジタルツールやその他の方法も活用しながら発刊します。
- ②三越350周年をはじめ、これからの日本橋本店で働くメンバーをサポートするため、店内外の商況等に関する情報を発信します。

その他

様々な背景を持つメンバーがイキイキと働くため、同じ背景を持つメンバー同士が自由に話す機会を提供します。

- ①ダイバーシティ活動の一環として、『育児と仕事を両立』している従業員の悩み事解決に繋げるために、日本橋店従業員同士が育児や両立をテーマに互いに自由に話す場をつくります。
- ②育児以外の『ライフイベントと仕事の両立』について、組合本部が発信する情報の周知・拡散に取り組むとともに、メンバーから意見や相談が寄せられる環境を整えます。

